

喜茂別町デイサービスセンター事業経営戦略

団体名 喜茂別町
事業名 喜茂別町デイサービスセンター事業
策定日 令和3年3月
計画期間 令和3年度～令和7年度（5年間）

1	はじめに	P. 1
2	事業概要	P. 1
3	将来の事業環境等	P. 5
4	経営の基本方針	P. 8
5	収支計画	P. 8
6	経営戦略の事後検証及び改定等に関する事項	P. 9

1 はじめに

喜茂別町デイサービスセンターは、喜茂別町ふれあい福祉センターに設置しており、喜茂別町老人福祉センターを併設した施設です。喜茂別町は、人口2,050人、65歳以上の高齢者人口（高齢化率）が812人（39.61%）（令和3年1月1日現在）で、人口減少の一途であるとともに、高齢化率が非常に高い状況です。

当該デイサービス事業については町の直営であります。これまで町からの業務委託により喜茂別町社会福祉協議会が受託し、当該事業を運営しています。地域包括ケアシステムの理念に立ち、高齢者が介護を必要な時期になっても、引き続き住み慣れた地域で暮らすことができるようにするため、又は、安心して暮らし続けることができるためには、地域内に在宅サービスを提供できる事業所が存在することが必要不可欠です。

フォーマル、インフォーマルを含めて社会資源の少ない本町において、当該事業が望まれることから、今後も当該事業を継続する方針です。しかし、当該デイサービス利用者の減少に伴う介護保険収入等の減少や当該施設の老朽化をはじめ、団塊の世代が後期高齢者に到達する2025年問題とさらにその先の高齢化率の予測推移等を踏まえ、町としての今後の事業運営における見通しを立てるために、この経営戦略を策定します。

2 事業概要

町は、喜茂別町デイサービスセンターを設置し、当該事業を継続することによって、高齢者が介護や支援を必要になっても住み慣れた地域で暮らすことができるように、介護保険法（平成9年法律第123号）の規定による地域密着型通所介護に係るサービスを提供しています。

（1）事業形態など

ア 事業の現況

法適（全部適用・一部適用）・法非適の区分	法非適	事業開始年月日	平成12年4月1日
事業の内容	老人デイサービスセンター	運営形態	業務委託
職員数	6人		
うち 介護職員数	3人	機能訓練指導員数	1人
看護職員数	1人	生活相談員数	1人

※上記の看護職員と機能訓練指導員は兼務

※管理者は介護職員と兼務

イ 施設

施設数	1	定員	18人
所在地	喜茂別町字喜茂別 15番地の1	建物	鉄筋コンクリート1階建て (平成9年2月建築)
延床面積	455㎡	居室床面積	97.765㎡
サービス日数	243日 (令和元年度実績)	年延利用者数	2,088人 (令和元年度実績)

※土・日・祝日、年末年始休み

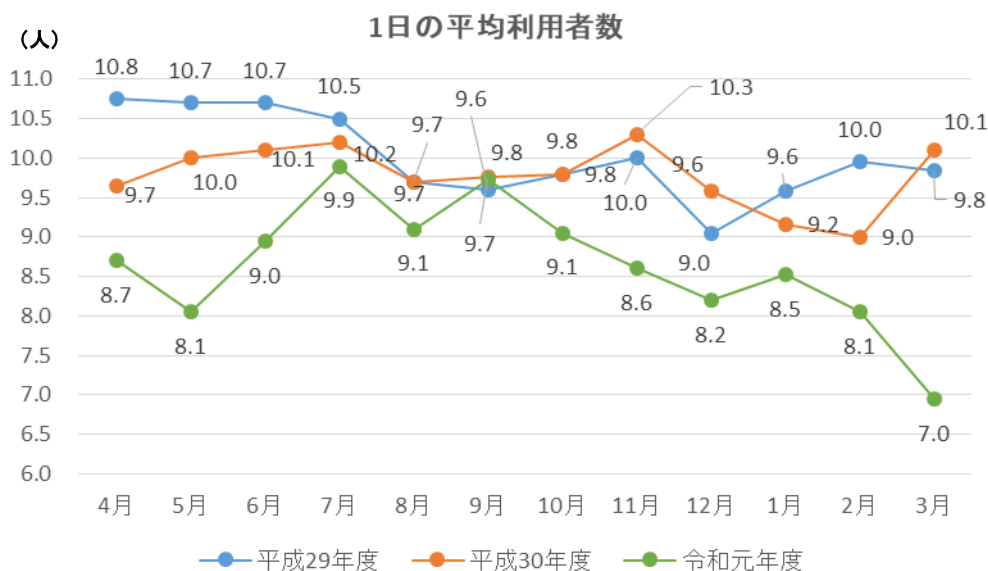
※営業時間【8時30分～17時15分】／【サービス提供時間 9時30分～15時45分】

(2) 現在の経営状況

ア 利用者状況

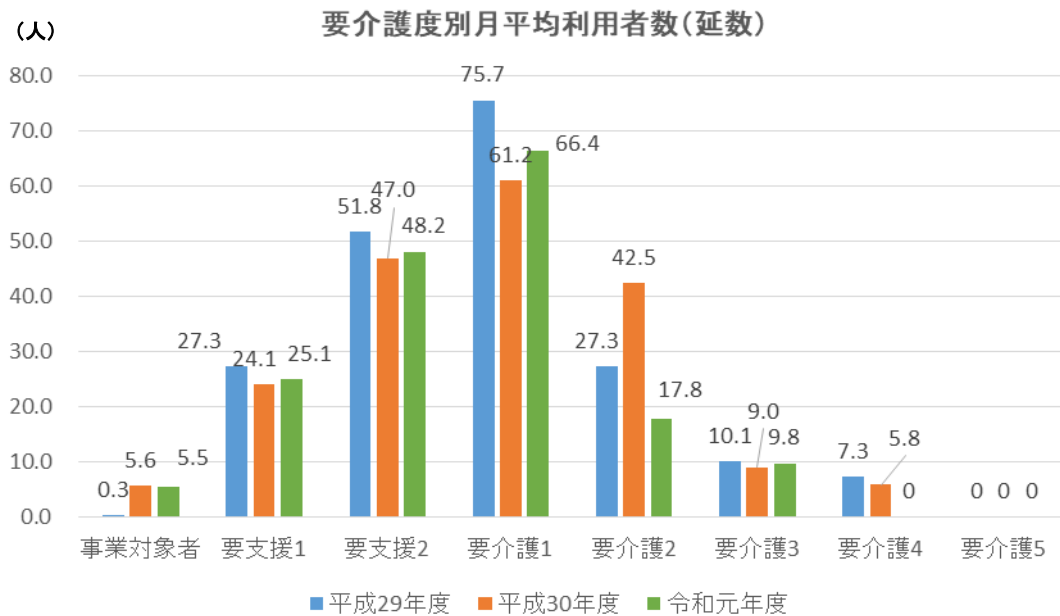
年度	利用者数(延人数)		
	介護給付	予防給付 (総合事業)	合計
平成29年度	1,417人	956人	2,373人
平成30年度	1,422人	920人	2,342人
令和元年度	1,128人	945人	2,086人

イ 一日の平均利用者数(定員18人)



過去3ヶ年(平成29年度～令和元年度)における一日の平均利用者数は減少傾向であり、月別での比較においても減少傾向です。特に、令和元年度は年度末に新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が大きかったものの、1日平均利用者数が10名未満であり、今後、利用者定員の変更(10名以下定員)も検討が必要と考えられます。

ウ 要介護度別平均利用者数



過去3ヶ年(平成29年度～令和元年度)における要支援・要介護度別の月平均利用者数を見ると、平成29年度は要介護1、平成30年度は要介護2の方が相対的に多い状況で、多少の変動はあるものの、概ね利用者の要支援・要介護度別の内訳に大きな変化はありません。しかし、いずれの年度においても要介護1の方がピークであることは、全国的な要支援・要介護認定の比率と相違するものではありません。要介護1の方は、要支援2もしくは要介護2いずれ寄りの方が異なり、個人の努力や意識、支援(サービス)内容により改善、悪化いずれの転帰も考えられます。本町においては、在宅・施設、フォーマル・インフォーマル含め社会資源が少ないことから、当該デイサービスにおける機能訓練や社会との関わりによって重度化・フレイル・閉じこもり等の予防に資する取組みがますます期待されます。

エ 直近3年間の収支状況

【喜茂別町介護サービス事業特別会計(委託者)】

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入		27,000,000	25,000,000	24,000,000
	介護給付・総合事業費収入	14,542,454	16,129,962	13,814,679
	利用者負担金収入	2,144,909	2,057,683	1,980,970
	一般会計繰入金	10,312,637	6,812,355	8,204,351
歳出		27,000,000	25,000,000	24,000,000
	デイサービス委託料	27,000,000	25,000,000	24,000,000

当該事業は喜茂別町の直営であり、喜茂別町社会福祉協議会に委託し事業運営をしており、町の会計として「喜茂別町介護サービス事業特別会計」を設けています。介護保険収入及び総合事業費収入、利用者負担金収入（概ね1割の方が多）は、過去3年間（平成29年度～令和元年度）において変動はあるものの減少傾向であり、それに伴い町の一般財源による支出が大きくなっています。介護保険収入等及び利用者負担金収入の減少による厳しい町の財政状況から、当該事業に係る委託料も抑制せざるをえない状況です。

【喜茂別町デイサービスセンター（受託者）】

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度
総収入		27,000,000	26,568,289	24,654,408
	デイサービス委託料	27,000,000	25,000,000	24,000,000
	繰入金	0	1,568,289	654,408
総費用		27,000,000	26,568,289	24,654,408
	人件費	21,777,301	20,107,778	20,000,898
	給料	9,534,000	9,138,500	9,183,600
	職員手当	5,093,251	4,378,900	3,958,945
	共済費	1,217,100	598,780	2,022,877
	賃金	5,932,950	5,991,598	4,835,476
	旅費	268,445	36,000	56,900
	旅費	268,445	36,000	56,900
	事務費	202,197	269,066	121,982
	需用費	192,197	269,066	99,682
	負担金	10,000	0	22,300
	基本通所事業費	4,752,057	6,155,445	4,474,628
	需用費	831,463	1,971,673	2,371,091
	役務費	118,594	0	0
	給食費	3,802,000	3,669,872	1,601,642
	退職共済預け金	0	513,900	501,895

当該事業委託料の約80%強が人件費に充てられています。委託料の減額に伴い、人件費を抑制せざるをえませんが、同時に、上記の基本通所事業費も大きく減少しています。本町における貴重な社会資源であるため、可能な限り健全な事業運営に努めていく必要があります。

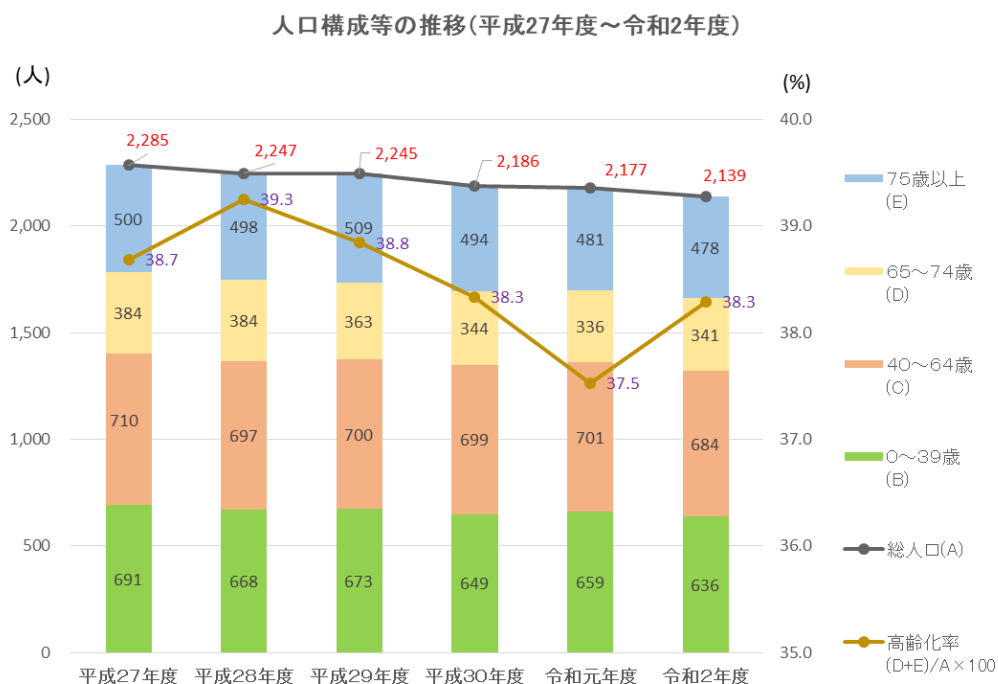
3 将来の事業環境等

(1) 介護保険サービス事業における主な取組

喜茂別町内に存在する介護保険サービスは、当該デイサービスの他、通所型サービス A（総合事業）、訪問介護、訪問看護及び介護老人福祉施設（短期入所含む）が存在しますが、入浴サービスや食事提供を行う通所系のサービスは、当該デイサービスしかありません。地域住民が心身ともに健康に過ごし、利用者同士の貴重な交流の場としての機能のためには必要不可欠です。

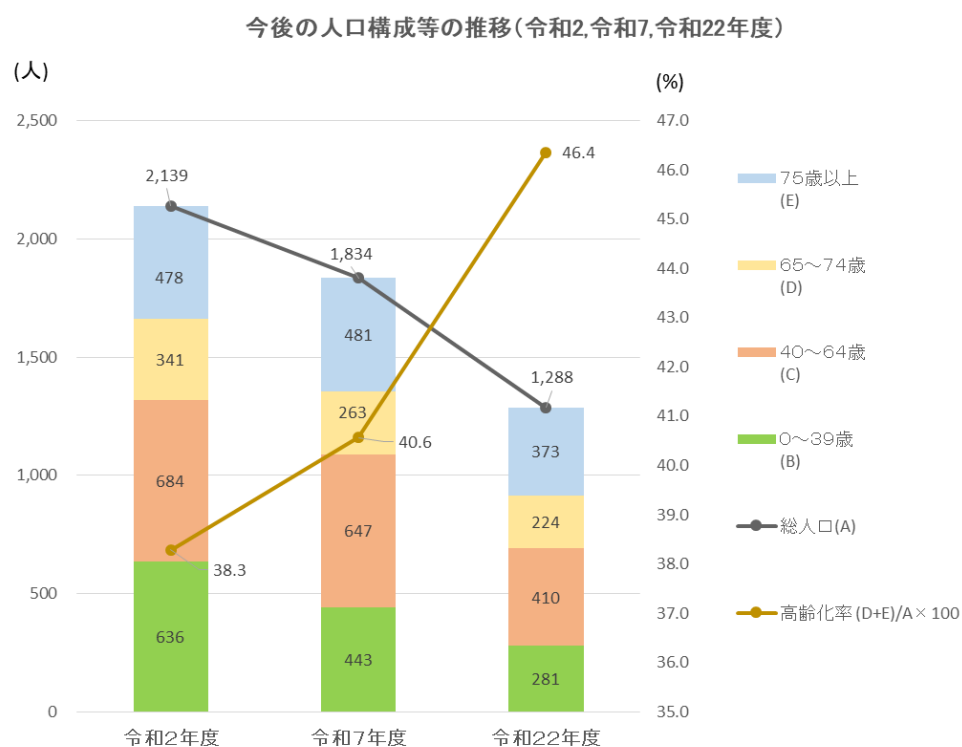
町においては、高齢者が介護や医療が必要になっても、いつまでも住み慣れた地域の中で、自分らしい暮らしができるように、地域包括ケアシステムの確立を目指しています。

(2) 町の人口構成等の推移（平成27年度～令和2年度）



※各年度3月末・令和2年度は令和2年9月末（住民基本台帳）

(3) 今後の町の人口構成等の推移

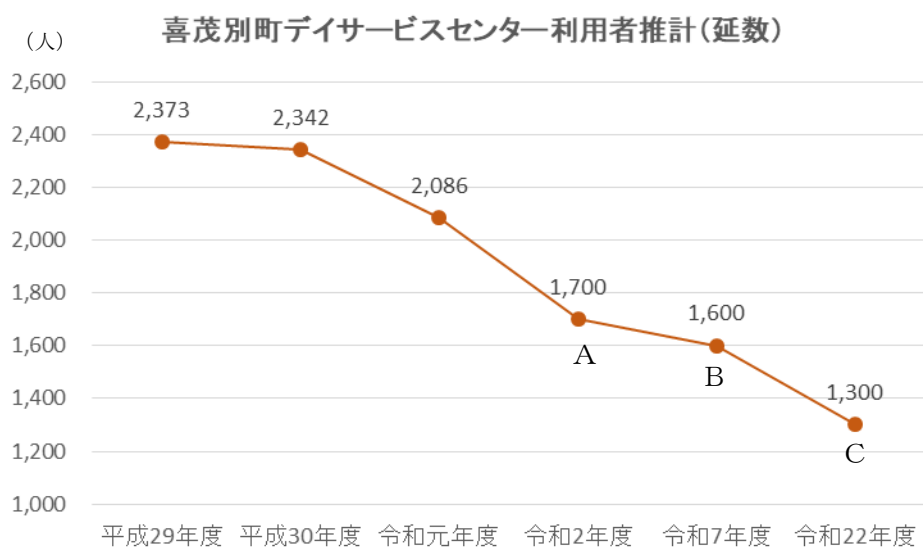


※令和2年度は令和2年9月末（住民基本台帳）

※令和7年度及び22年度（国立社会保障・人口問題研究所調べ）

(4) 利用者の予測

喜茂別町デイサービスセンター利用者推計（延数）



※平成29年度～令和元年度：実績

※令和2、7、22年度：見込（下記算出方法参照）

①令和2年度：A

（令和2年4月～令和3年1月実績の平均利用者数）×12ヶ月

②令和7年度：B

（令和7年度高齢者数（744人）／令和2年度高齢者数（819人））×A

③令和22年度：C

（令和22年度高齢者数（597人）／令和2年度高齢者数（819人））×A

【注1】上記②及び③の高齢者数は、上記3（2）及び（3）の数値を用いています。

【注2】上記②B及び③Cの数値は、十の位を切り上げて算出しています。

令和2年当初からの新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、当該デイサービスの令和元年度の利用者数は大きく減少し、その影響は令和2年度も継続して見られています。今後、高齢化率は増加する見込みですが、高齢者人口は既に減少傾向であることから、新型コロナウイルス感染症が終息した場合でも、当該デイサービス利用者数は減少傾向になると推計します。

（5）建物や設備の老朽化問題

現在のデイサービスセンターが設置されている、喜茂別町ふれあい福祉センターは、平成9年2月建築、鉄筋コンクリート造で、喜茂別町老人福祉センターが併設されています。近年、施設建物（屋根等）や施設内設備（ボイラー等）等において、修繕が必要な箇所が増えてきており、修繕費・工事費が高んできています。

◎近年の修繕・工事状況

	修繕・工事	
	件数	金額（円）
平成29年度	2	251,964
平成30年度	13	2,264,220
令和 元年度	12	5,564,340

4 経営の基本方針

喜茂別町デイサービスセンターは、喜茂別町ふれあい福祉センターに設置しており、喜茂別町老人福祉センターを併設した施設です。喜茂別町は、人口2,050人、65歳以上の高齢者人口（高齢化率）が812人（39.61%）（令和3年1月1日現在）で、人口減少の一途であるとともに、高齢化率が非常に高い状況です。当該デイサービス事業については町の直営であります。これまで町からの業務委託により喜茂別町社会福祉協議会が受託し、当該事業を運営しています。地域包括ケアシステムの理念に立ち、高齢者が介護を必要な時期になっても、引き続き住み慣れた地域で暮らすことができるようにするため、又は、安心して暮らし続けることができるためには、地域内に在宅サービスを提供できる事業所が存在することが必要不可欠です。フォーマル、インフォーマルを含めて社会資源の少ない本町において、当該事業が望まれることから、今後も当該事業を継続する方針です。

そのためにも、民間のノウハウを活用する業務委託の継続による当該施設の管理運営も含め、利用者が安全・安心して過ごすことができるよう、防災対策などの危機管理体制を整備するとともに、安定した管理運営を行うことが必要であると考えます。

5 収支計画

【喜茂別町介護サービス事業特別会計（委託者）】

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
歳入	27,000,000	25,000,000	24,000,000	19,200,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000
介護給付・総合事業費収入	14,542,454	16,129,962	13,814,679	9,844,000	12,549,000	12,400,000	12,300,000	12,200,000	12,100,000
利用者負担金収入	2,144,909	2,057,683	1,980,970	1,560,000	1,829,000	1,700,000	1,600,000	1,500,000	1,400,000
一般会計繰入金	10,312,637	6,812,355	8,204,351	7,796,000	6,122,000	6,400,000	6,600,000	6,800,000	7,000,000
歳出	27,000,000	25,000,000	24,000,000	19,200,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000
デイサービス委託料	27,000,000	25,000,000	24,000,000	19,200,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000

【喜茂別町デイサービスセンター（受託者）】

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総収入	27,000,000	26,568,289	24,654,408	19,424,000	22,100,000	22,130,000	22,130,000	22,130,000	22,130,000
デイサービス委託料	27,000,000	25,000,000	24,000,000	19,200,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000	20,500,000
繰入金	0	1,568,289	654,408	224,000	1,600,000	1,630,000	1,630,000	1,630,000	1,630,000
総費用	27,000,000	26,568,289	24,654,408	19,424,000	22,100,000	22,130,000	22,130,000	22,130,000	22,130,000
人件費	21,777,301	20,107,778	20,000,898	17,272,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000
給料	9,534,000	9,138,500	9,183,600						
職員手当	5,093,251	4,378,900	3,958,945						
共済費	1,217,100	598,780	2,022,877						
賃金	5,932,950	5,991,598	4,835,476						
旅費	268,445	36,000	56,900	0	0	30,000	30,000	30,000	30,000
旅費	268,445	36,000	56,900						
事務費	202,197	269,066	121,982	109,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
需用費	192,197	269,066	99,682						
負担金	10,000	0	22,300						
基本通所事業費	4,752,057	6,155,445	4,474,628	2,043,000	3,900,000	3,900,000	3,900,000	3,900,000	3,900,000
需用費	831,463	1,971,673	2,371,091						
役務費	118,594	0	0						
給食費	3,802,000	3,669,872	1,601,642						
退職共済預け金	0	513,900	501,895						

(1) 収支計画の策定にあたっての説明

町からの委託料にて運営している当該デイサービスの利用者数は、今後5年間の人口推移等を鑑みると総じて減少傾向であると推測しています。介護保険収入等は、利用者数や利用者の要支援・要介護度に応じて変動することから減少傾向と推測でき、それに伴い、支出の削減が必要になります。今後の介護報酬改定の影響や社会情勢の変化などにも対応するため、収支計画の健全化を図っていく必要があります。

(2) 収支計画に未反映の取組みや今後検討予定の取組みの概要

町では、高齢者が介護や医療が必要になっても、住み慣れた地域の中で自分らしい暮らしができるよう、地域包括ケアシステムの確立を目指しています。そのためにも、今後も運営委託等により、当該デイサービスセンター事業を継続運営していくことが必要不可欠であると考えます。

今後5年間においては、当該施設の大規模修繕の計画はありませんが、事業の継続に影響を及ぼすような故障等が発生及び発覚した際には、当該事業受託者との協議を行いながら、適宜修繕を行い、利用者が生き生きと過ごすことができる安全で快適な施設を目指します。

6 経営戦略の事後検証及び改定等に関する事項

この経営戦略は、第6次喜茂別町総合計画、喜茂別町高齢者保健福祉計画、後志広域連合介護保険事業計画やその他計画との整合性を確認するとともに、適宜、その内容について検証していきます。他の計画との間に相違点がある場合などは、適宜、より実態に即した計画となるように事後検証を行い、PDCAサイクルによる更新が必要です。

喜茂別町元気応援課

〒044-0201 北海道虻田郡喜茂別町字喜茂別13番地の3

電話：0136-55-5101

FAX：0136-33-3000

E-Mail：genki@town.kimobetsu.lg.jp